

## 2 個別事業評価調書

団体名: 笠置町

事業名		生活の足確保対策事業					
事業の概要		木津川市(旧木津町)と南山城村を結んでいた奈良交通の路線バス休止のため、現在町内を繋ぐ他の交通機関がないため、町営バスを運行しました。					
		事業期間	平成18年4月1日～平成19年3月31日				
		総事業費	5,512千円	本年度事業費	5,512千円	交付金交付額	2,672千円
事業評価	事業の必要性	当町の唯一の公共交通機関はJR笠置駅ですが、駅を結ぶ交通機関がないため、高齢者や自動車免許を持たない住民や児童にとっては非常に不便な状況にあります。					
	事業の有効性	国道163号線が当町の東西に通過していることもあり、自動車の交通量はかなり多いことから、高齢者や児童にとって徒歩による移動も難しく危険です。 そうした状況から町営バスによる移動は、便利で安全であると考えます。					
	事業の効率性						
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果 (京都府山城地域振興計画記載箇所 ページ 行目)					
		2 住民の自治意識を高める成果 住民の身近な交通手段の確保策として実施した本事業は、JR笠置駅からの汽車の発車時刻に間に合うように運行しているために、年間約18,000人の利用があり、本事業は当町の重要な住民サービス事業となっています。					
		3 リーディング・モデル成果					
4 広域的波及成果							
5 行財政改革に資する成果							
		6 その他の成果					